

## 乳腺センター開設のご案内

くもしかして乳がん？>患者様の不安を早くなくすために、総合病院のチカラで精密で迅速な乳がん診療を提供しています。

### 乳腺外科部長 大川 由美

2009年外科・乳腺外科標榜、その後の患者様増加に伴い2017年4月に単科となりました。現在の乳腺MRI、マンモトームに加え2017年3月に3Dマンモグラフィを備え、より精密な乳がん診療を目指しています。

当院は総合病院のメリットを活かして、迅速に各科と連携・協力するチーム医療を行っています。乳癌治療、画像診断、放射線治療、病理診断、形成外科、がん薬物療法、緩和医療等すべての専門医が常勤しており、女性技師がマンモグラフィ、エコー検査を担当します。道内でも数少ない望ましい環境で乳がん診断・治療が受けられます。

患者様から・・・

- ・乳がん検診を受けたら、精密検査するよう連絡が来た
- ・乳房にしこりがある、最近へこみに気づいた
- ・授乳していないのに、乳首からつゆが出る

こんなご相談を受けたことはありませんか？ 当科では受診当日にマンモグラフィ、エコー検査を行っ

ています。透析を続けていたり、一般病棟入院が難しい病気を抱えた方でも透析センター、精神医療センターと協力して治療できます。単科設立に伴い、さらに患者様や連携機関スタッフの方々のお役に立てる様、乳がん診療レベルの向上を目指しています。



3D マンモグラフィと女性の診療放射線技師

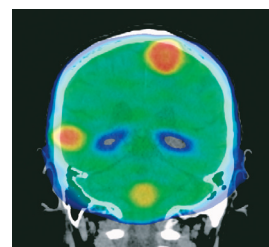
### 放射線治療科部長 池田 光

当院に乳腺センターが4月から開設になりました。乳癌の治療では、温存術後の局所再発の予防としての温存照射や、乳房切除後に再発を予防し、治癒率の向上を目指しての術後照射などが年間200例近くの方に施行しております。再発転移症例に対しましても症状の改善、局所病変の制御を目的に幅広く放射線治療が行われております。

また2013年の高精度放射線治療システムの導入以降に、脳転移症例への定位照射や、記憶力の低下を避けるため海馬の線量をさげて、腫瘍にはより高い線量を投与する全脳への強度変調治療(図1)、

脊椎骨転移の症例で、再照射等が必要となった症例に対し、従来治療では行えなかった脊髄を避けた椎体へ治療する強度変調治療などが、可能となり治療を開始しています。

2名の専門医と医学物理士、認定看護師などコメディカルをふくめた放射線治療チームを結成しており、患者さんに、安心して有用な治療が提供できるように一丸となって対応しております。



(図1)